

南長野版

南長野支社
〒388-8007
長野市篠ノ井布施高田
1295-13
TEL 2999-5998
FAX 2999-5977
〒118-8581 東京都葛飾区
FAX 562-2222

運転免許センター
長野上田線
篠ノ井高
千曲市へ

消しゴムハンコ作り

大岡ので 手拭いの絵付けも



ナナアキヤさん(中央)から消しゴムハンコの彫り方を教わる参加者

~~~~~

題材で作れるのが楽しい」と熱中。講師の作品を参考にタマネギとリンゴを彫り、消しゴムハンコを手拭いに押し当てていた廣田寿美

## 井ノ井 飲食店が酒蔵見学会

江さん(66)は「大岡丙は「不器用だから心配したけれど、ちゃんとリンゴにもタマネギにも見える」と喜んだ。ナナアキヤさんは昨年未から今年にかけて大岡地区住民自治協議会から依頼を受け、大岡小・中学校の児童生徒に贈る記念品として、県無形民俗文化財の「芦ノ尻道祖神」などを題材にした消しゴムハンコで手拭いを制作。同地区との縁が深まっていくという。

古い道具が並ぶ資料館を見て回った。

参加者は飯田慎社長案内で、もろみを3回に分けて仕込む「三段仕込み」の過程を見

篠ノ井 飲食店が酒蔵見学会  
もろみ発酵音聞き試飲も

篠ノ井布施高田の飲食店「まちの円居(まどい)食の団樂(だんらん)丸十」はこのほど、東飯田酒造店・篠ノ井小松原を訪問し、「酒蔵見学会」を開いた。公募で市内外から集まった10人が、昔ながらの酒造りの現場や、

## 若穂の医師ら 公開討論や講話

「若穂地域医療懇談会」が15日、市若穂支所で開かれた「写真。JAグリーン長野若穂地区保健福祉推進委員会などが主催し、約100人が参加。医師によるパネル討論や健康講話があった。

パネル討論には、厚生連長野松代総合病院

大岡甲の「カフェテラスモモ」のほど、デザイナーのナナアキヤさん(37)は松本市を彫り、特殊なインクを付けて手拭いに押しつけて、オリジナルの作品を作った。

講師に「消しゴムハンコと手ぬぐい作り」教室を開いた。女中牧は「大岡性8人が参加して専用に移住し、農業が楽しい消しゴムに好きな絵を付けて仕方がない。好きな



## 海外の人権活動家

# チリの抵抗運動解説

## 大島記念館の保管作品で

松代町清野の大島博光記念館は16日、チリ出身で英国領北アイルランド在住の人権活動家ロベラ・バシクさん(63)の講演会を館内で開いた。バシクさんは、1970年代〜90年代にチリで続いた旧軍政権への抵抗運動で民衆の女性たちが手作りし、同記念館がそのうち90点近くを保管しているタペストリー作品「アルピジェラ」の史料の意義などについて解説した。

約30人が聴講。バシクさんはアルピジェラについて、軍政成立の発端となったクーデターや、軍政下で政治を縫い表し、発信する



アルピジェラに縫い表された図柄について解説するバシクさん

政移管が実現した1990年の前後に作られたものが多いと述べた。

その上で、禁じられた時期もあるアルピジェラ作りは勇気のいることであり、「女性たちは大勢で輪になって作品を作り、辛い経験を共有した」と解説。聴衆からは「チリは遠い国だが、いきさつを聞いて涙が出るほど感動した」といった発言が聞かれた。

バシクさんは、アルピジェラの日本人研究者の仲介で初めて長野市を訪れ、同記念館の作品を調査。うち10点余を借り、アルゼンチンで開かれる国際的なアルピジェラ展で披露する予定だ。